

1 主題構成表

主題名 友達とは
教材名 コスモスの花

■内容項目 B 友情, 信頼

友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。

■価値の分析

友達は家族以外で特に深い関わりをもつ存在であり, 友達関係は共に学んだり遊んだりすることを通して, 互いに影響し合って構築されるものである。また, 友達関係の状況によって学校生活が充実するか否かが方向付けられることも少なくない。

よりよい友達関係を築くには, 互いを認め合い, 学習活動や生活の様々な場面を通して, 理解し合い, 協力し, 助け合い, 信頼感や友情を育てていくことが大切であることを考えさせたい。

■内容項目から見た児童の実態

(意識)

・困っている友達を助けたり, 自分はその係や当番でなくても手伝ったりするなど, 互いに助け合う姿が多く見られる。その意識は, 友達が困っているから助けたい, ずっと友達でいたいという気持ちである。

一方で, お互いのよさや趣味や傾向に対して, 自分とは異なる友達に対して, 素直に認められない姿も見られる。私より目立ってほしくない, 他に友達ができてしまうかもしれないなどの意識である。

(要因)

・困っている友達がいたら, 互いに助け合うことが大切であることに気付いている。

・友達とお互いのよさを認め合うことで, よりよい人間関係を築くことができることを感得していない。

■教材の分析

コスモスの花

ぼく(玉木)が友達の北山のことをよく思わない気持ちを追求することで, 友達のよさを素直に認められないときの考え方や感じ方を引き出すことができ, 自分との関わりに気付かせることができる。

北山を悪く言うクラスメートに対して, 「やめろよー」と言ったときのぼくの気持ちを追求することで, 友達とは, お互いのよさを認め合ったり, 助け合えたりする大切な存在であることに気付かせることができる。

「やめろよー」と言ったあとの場面で, ぼくと北山の会話を役割演技することで, 実感をもってお互いのよさを認め合うことのよさを感得させたい。

■ねらい

友達のよさを認められない気持ちが自分にもあることに気づき, 友達とはどんな存在なのかを考えさせ, 互いのよさを認め合い, 助け合い, よりよい関係を築こうとする心情を育てる。

■展開の構想

- ・友達とはどんな人かを考えさせる。
- ・教材文を読み, 「ぼく」の北山に対する思いで, 「よくないな」「いいな」と思う場面を挙げ, 人間理解や価値理解の発問につなげる。
- ・「北山なんてー」という気持ちになった理由を考えることで, 友達のよさを素直に認められない考え方や感じ方を引き出し, 自分ほどの気持ちが強いのかに気付かせる。
- ・『気に入らなかったのに, どうして「やめろよー」と言ったのでしょうか。』と問うことで, 互いのよさを認め合うことの大切さに気付かせる。
- ・これまでの生活を振り返り, 友達とお互いのよさを認め合ったり, 助け合ったりしていこうとする気持ちを高める。

■判断力・心情・実践意欲を高める工夫

- [中心発問] 『「ぼく」も北山のことが気に入らないのに, 北山に悪口を言うクラスメートに対して, どうして「やめろよー」と言ったのだろうか。』と問うことで, 友達同士は, 認め合い, 助け合うことが大切であることをとらえさせる。
- [学習形態] 中心発問の後に役割演技を位置付け, 友達とは, お互いのよさを認め合える存在であることに気付かせるようにする。
- [言語活動] これまでの自分を見つめ直し, 友達とお互いのよさを認め合ったり, 助け合ったりしていこうとする気持ちを高めることができるようにする。

■道徳性の高まりを見届ける体験活動の工夫

学校行事 運動会, 修学旅行 道徳「コスモスの花」, 「ロレンゾの友達」
相手と認め合うよさを感じ, よりよい関係を築こうとする。

学習指導過程

	学習活動と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>○あなたにとって、友達とは、どんな人のことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒にいて楽しい人。 ・困っている時に、相談に乗ってくれる人。 <p>◇友達が自分よりも上回っていたときに、認めることができるか、できないかを心のメーターに表す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「友達」とはどんな人か、これまでの生活経験をもとに振り返らせて、価値へ方向付けを行う。 ・教師が具体的な場面を提示して、自分は認めることができるか、できないか考えられるようにする。 ・ロイロノートを活用して、自分の思いを表すことができるようにする。
展開前段	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">友達とよりよい関係を築くために大切なことを考えよう。</p> <p>◇教材「コスモスの花」を読んで話し合う。</p> <p>○「ぼく」の友達の北山に対する思いで「いいな」「よくないな」と思ったところはどこでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもは目立たないのに、みんなに注目されていて気に入らない。(人間理解の場面) ・クラスメートからよく思われていないときに、「やめろよー」と言えた。(価値理解の場面) <p>○クラスで一番目立つ存在になっていた北山を見て、「北山なんてー」という気持ちになったのはどうしてだろう。(人間理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもは目立たなくせに、おもしろくない。 ・女子に責められて腹が立つ。 ・羨ましい。 ・自分が上だと思っていた。 <p>◎「ぼく」も北山のことが気に入らないのに、北山に悪口を言うクラスメートに対して、どうして「やめろよー」と言ったのだろう。(価値理解)</p> <p>①気に入らないけど、やっぱり北山は大事な友達だから。</p> <p>②北山にもよさがあるのに、友達のことを悪く言われるのは許せない。助けたい。</p> <p>③自分も同じような気持ちでいたことが恥ずかしい</p> <p>【役割演技】 ぼく：児童 北山：教師 北山：さっきはありがとう。どうして「やめろよー」って言ってくれたの。 ぼく：だって北山は大切な友達だから。悪く言われているのが許せなかったんだ。 北山：でも、生け花なんて変わっているだろ。 ぼく：北山が生けたコスモスの花、本当にすごかったよ。北山にこんなすごい一面があるなんて知らなかった。 北山：玉林くんもサッカーがすごく上手いよね。好きなことを認めてもらえて嬉しいよ。これからも、友達でずっといようね。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">友達は、お互いのよさを認め合ったり、助け合ったりすることが大切。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物を確認する。ぼく（玉林）と北山が友達同士であることをおさえる。 ・ぼく（玉林）の北山に対する「よくないな」と思うところ（人間理解の場面）、「いいな」と思うところ（価値理解の場面）の観点に着目して範読を聞くように促し、人間理解や価値理解の発問につなげる。 ・普段目立たない北山が目立っている様子が気に入らない「ぼく」の状況を確認する。 ・友達のよさを素直に認められない多様な考え方や感じ方を引き出し、板書に整理する。 ・認められない多様な気持ちを引き出し、板書に整理する。交流を通して、自分ほどの気持ちが強いのかに気付かせる。仲間の発言を聞いて、「最初は」「〇〇を聞いて」「今は」で発言できるようにする。 ・仲間の意見を聞いて、自分の考えに変容があった児童のネームプレートを裏返し、色を変える。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【補助発問】 ★北山が生けたコスモスをはじめて見た時、ぼくはどう思っていたのだろう。(⑤の反応を)引き出したい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいに迫る価値観の高い反応②の反応を取り上げ、「この気持ちも確かにある？」と問いかけ、①、③を発言した児童に対して意図的に指名する。②の反応も確かにあると反応したとき、価値観が高まったととらえる。 ・役割演技を通して、お互いのよさを認め合えることは、よりよい関係を築くことに繋がることに気付かせる。 ・役割演技を見ていた児童に、「友達であるためには、どんなことを大切にしないといけないか」と問いかけ、互いのよさを認め合い、助け合うことが大切であることを引き出し、本時のまとめにつなげる。
	展開後段	<p>◇自分の生活を振り返る。</p> <p>◇これまでに、友だちと認め合うことができたことや、できなかったことはありますか。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分見つめの視点 ・今日の学習で学んだこと ・これまでの自分 ・今思うと ・自分課題</p> <p>◇発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇さんが毎日帰りの会で、友達のよいことを発表している。名前を出された人の行動もすごいし、それを見つけて認められる〇〇さんもすごいと思った。」 <p>◇心のメーターで、心の変化を確認する。</p> <p>◇教師の説話を聞く。</p>
終末	<p>◇教師の説話を聞く。</p>	<p>〈変容の見届け〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のよさを素直に認められなかった児童が、お互いを認め合うよさに気づき、よりよい関係を築いていこうとする気持ちをもつことができたか。